

株式会社 Zero Gaming との資本業務提携及び 第三者割当増資に関する主なご質問への回答 (FAQ)

2026年6月23日付で公表いたしました「株式会社 Zero Gaming との資本業務提携、第三者割当増資による新株式の発行に関するお知らせ」につきまして、投資家の皆様から多数の反響並びにご質問をいただいております。

本件に対する当社のスタンスや事業推進への考え方について、より一層のご理解を深めていただくため、特に多く寄せられたご質問に対する回答を以下の通りお知らせいたします。

Q1：

今回の資本業務提携に対する、両社の現在の温度感や期待値を教えてください。

A1：

当社及び株式会社 Zero Gaming（以下「ZG社」）、並びに ZG社代表取締役のディーン・サドラー氏は、本提携を通じて推進する「デジタルトレカ×ファンタジースポーツ」のマルチスポーツ展開に対して、極めて強い確信と期待を持っています。

昨日公表した補足説明資料の通り、本提携は単なる資金調達にとどまらず、ZG社が有するスポーツ界への強力なネットワークやグローバルメディアの知見を、当社のサービスにダイレクトに融合させる「三位一体の協業体制」の構築を主目的としております。現在も、両社間で事業の早期拡大に向けた実務的な協議を熱量高く進めており、パートナーシップは非常に強固なものとなっています。

Q2：

開示情報において「本発行価額が230円を下回る場合、当社は、割当予定先との間で本第三者割当増資の実行について協議し、当該協議の結果、本第三者割当増資により当社が調達する資金に鑑みて、本資本業務提携契約の目的を達成することが困難であると当社が判断した場合には、本第三者割当増資を中止いたします。」との記載がありますが、230円（調達額約2億円）を下回った場合はただちに本件が白紙になってしまうのでしょうか？

A2：

その場合も本提携は変わらず推進していく方針です。

当該記載は、昨今の不透明なマクロ環境（地政学リスク等に起因する全体相場の大規模な急落など）により、当社の想定を遥かに超える水準で調達金額が著しく減少してしまうという「万が一の事態」に対する、上場企業としての適切なリスク管理（セーフティネット）として設けた条項です。

契約上、本提携実行の最終判断は当社に委ねられており、仮に株価の変動により算定された発行価額が230円を下回った場合であっても、当社といたしましては本提携を推進していく方針です。

Q3：

今回の第三者割当増資は株価連動で調達額が変動するスキームですが、今後の株価動向によって調達額が当初想定から変動した場合、予定しているアプリ開発やプロモーションなどの事業計画に影響や遅れは生じませんか？

A3：

事業計画の根幹に影響を及ぼすような遅れは生じないものと考えております。

本リリースのスキームの特性上、条件決定日の株価変動により、調達金額が当初想定から一定程度変動する可能性は織り込んでおり、必要に応じて当社の手元流動性の機動的な割り当て等を通じて対応する方針です。いずれにいたしましても、本第三者割当増資による調達資金は、スポーツコンテンツ領域における成長を『最大化・最速化』するための追加的な成長投資資金として位置づけております。ディーン・サドラー氏の知見とネットワークという強力な推進力を得て、事業の収益化と市場優位性の確立を最短距離で進めてまいります。

【マイネットグループ】 <https://mynet.co.jp>

「Make COLOR - 毎日に感動を -」をミッションに掲げるエンターテインメント企業。
ゲームの長期運営・再成長を実現する独自の運営力を強みに、安定的な収益基盤を構築。
その基盤とノウハウをもとに、プロスポーツリーグ公式サービスの開発・運営を行うスポーツコンテンツ領域、ハイレベル人材のマッチングを行う人材マッチング領域、さらには企業の事業成長を支援する戦略コンサルティング領域へ展開し、持続的な成長を目指しています。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社マイネット IR 担当

お問合せフォーム：<https://mynet.co.jp/ir/contact>

その他の IR 情報：<https://mynet.co.jp/ir>